

興味・関心を広げるきっかけは何?? (園長つぶやき)

年長クラスで育てている蝶々のサナギを見に、2歳児クラスの子ども達が部屋訪れている写真です。今年は、ツマグロヒョウモンという蝶々が4匹、アゲハチョウが2匹の計6匹の蝶々を幼虫から育てて、全てが成虫になり大空へ飛び立っていきました。これまでも、育てていましたが、今年は、こんなにも多くの蝶々が成虫になり、子ども達も嬉しそうでした。室屋先生の自然の時間で、生き物について触れる機会も多くなり、また成虫になるまでの流れも、室屋先生に手伝っていただきながらでしたが、とてもいい経験になっていると毎回感じるところです。



お世話をしている年長児だけではなく、他のクラスの子ども達も大きく興味を示します。ここ数年、当たり前のように、幼虫から成虫に変わる様子を見ていますが、本当に貴重な経験を子ども達はしているなと感じます。



もちろん、子ども達の全員が、生き物を好きというわけではありません。中には、苦手な子ども達もおり、自然の時間でダンゴムシのテーマの時も、なかなか触ることが出来ない子ども達もいます。この蝶々の話しについても、子ども全員に必要な経験・体験ではないかもしれません。しかし、様々な機会を増やすことで、子ども達の

興味関心を広げるきっかけには、きっとなるでしょう。一番に考えたいことは、目の前にいる子ども達に必要なものは何か?を考え、遊びや活動、経験・体験を用意できるかです。10の姿で考えると「自然との関わり・生命尊重(環境)」や「思考力の芽生え(環境)」が大きく育つ場面なのではないでしょうか?

